

格安でHPを開設したい人募集!

HP開設支援案内

たった、3万1500円でプロのデザインしたセミオーダーの自社HPが開設できます。話を聞いてみたい方は下記までTELを!

埼玉土建本部

048-863-6293 担当・フクシゲまで



住まいのネットワークとは

住まいのネットワークは規約も会費もないゆるやかな組織で、この情報誌を読むことが会員の資格です。学習・交流を通じ、中小業者の協同化を目指しています。

発行所：埼玉土建一般労働組合
さいたま市南区鹿手袋6-18-12
電話 048-863-6293

日事連の緊急会議で国交相担当官も確認申請の滞りを認め、周知徹底の不備について深く反省しているとした。



建築確認

依然混乱つづく

審査通らず仕事出来ないの声

6月20日に改定建築基準法が施行され3ヶ月が過ぎたが、確認申請が受理されない、確認が下りないといった混乱が全国的に続いており、「確認申請の遅れで仕事にかかれず、職人の解雇も考えざるをえない」(設備・熊谷)など、仲間にも深刻な影響が出ている。

審査指針の発表が施行日前日、構造計算方法などを規定する「構造関連技術基準」の解説書が出たのが8月10日。「構造計算概要書」の木造軸組版ひな形の公表が8月31日。全国で構造関連技術基準の講習会が開催されるのは9、10月になるなど、設計者はおろか、審査機関の審査員も判断できない状況のまま、施行したことが、混乱の最大の原因だ。

申請書類を預かり訂正や不足部分を指摘して申請書を作成してもらい、申請を受け付けるといった「預かり方式」をとっている。埼玉県の確認審査の6割を行っている「さいたま住宅検査センター」は、9月27日時点で預かり件数5,751件、受理4,623件、確認をおろした件数は4,504件(78%)と確認がまったくだりていないという状況ではない。しかし3階建てや鉄骨などの建物では、新たに電気配線、上下水道の引き込み、排水計

画 刀人の接続など関係法令についての図面を提出しなければならなくなったものの、国交省から図書のモデルが提示されていないことや、構造計算をとむなう審査に時間がかかるなどが遅れの原因と指摘されている。大臣認定の構造計算ソフトも無い為、混乱はまだまた続く予想される。木造一階建てについても、来年1月からは断面図、基礎伏図、各階床伏図、構造詳細図、基礎地盤説明書等14もの図面や証明が新たに求められることから、多くの仲間の建築士・工務店に混乱が生じることが予想される。消費者側には安心安全な住宅になるとの評価が多いが、良いところだけではない。お施主さんに法改定への理解を求め、十分な打ち合わせと確認を行うことが必要だ。

確認審査の厳格化で、慣行で省略していた図面表記や建築材料の種類、適合証明の添付が必要となった、構造計算方法の変更と構造審査「ピアチェック」の義務付け(20㎡以上

緊急開催

改定建築基準法学習会

工務店や建築事務所は必ず受講を!

【講師】埼玉住宅センター

参事 村山憲二郎氏

【日時】

11月4日13時~16時

11月14日18時~21時

【場所】埼玉土建会館

【受講料】無料【定員】100名

【申し込み】所属の支部まで

【問い合わせ】埼玉土建本部

048-863-6293 担当・橋本

耐震化・省エネ化を推進強化 住宅は「超」長寿命化へ

省度要求
交年要
08算
予

住宅は循環

利用へシフト

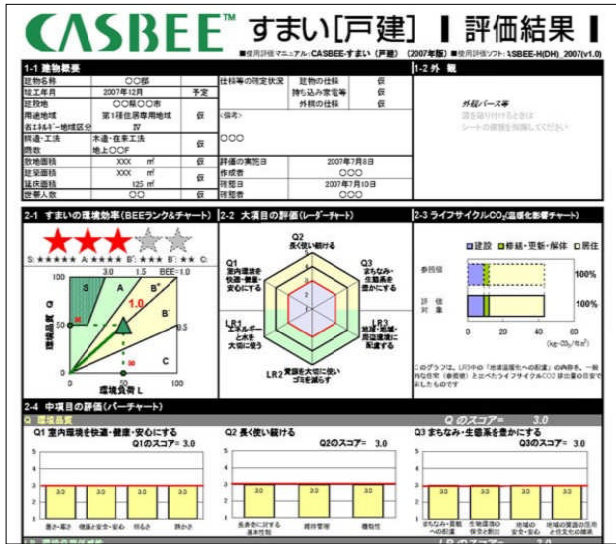
国土交通省は来年度予算要求の重要テーマに「200年住宅」なを掲げた。住宅の長寿命化に向けた取り組みで108億円を要求し、質の高い超長期住宅の普及を支援するための法律「住宅の循環利用の促進に関する法律案」を来年の通常国会に提出する予定だ。

耐震と省エネを強化

さらに、国が認定する超長期住宅の基準に合致した住宅について



女部内閣に続き、備内閣でも再任した冬柴国土交通相



環境への対応がチャートや印で消費者に分かりやすく表

耐震の改修の促進は、道路を塞ぐおそれがあるなどの要件を緩和・撤廃し、国の助成対象を大幅に拡げる。補助率も15・2%から23%に大幅に

住宅の「環境通信簿」始まる

建築物の環境性能を評価する手法として注目されているCASB

環境への対応がチャートや印で消費者に分かりやすく表

引き上げ、制度の活用を促す。自治体の耐震補助事業の対象外の耐震改修でも、税制上の優遇がうけられるようにするなど措置も検討する。

環境意識の高い住み手へのアピール・ツールとして使えることから、工務店にとって注目のツールとなりそうだ。CASBEE「すまい」戸建て」はHPでユーザー登録すればダウンロードできる。

これら一連の施策は、住宅ローンの証券化を目指す今回の建築

新しい流れに
対応が必要

住宅の長寿命化や環境にやさしい住宅づく

E E (キャスビー、サイトアドレス <http://www.wibec.or.jp/casbee/>)

も増えている。CASBEEはもともと建築物の総合的な環境性能を評価するツールとして開発されたが、

Eの評価は、住み手が直感的に理解しやすいようにいくつかのリーダーチャートで表記される。表計算ソフトの「エクセル」で作られパソコンで簡単に計算できることから、住み手と造り手がどうすれば評価結果が良くなるかを考えあうこともできる。